



② 第三海堡遺構

東京湾第三海堡は、東京を防護するため東京湾口に設けられた砲台を設置するための人工島です。明治25年(1892年)の着工から、30年間に及ぶ難工事の末、大正10年(1921年)に竣工しました。しかし、わずか2年後の関東大震災によって崩壊し、海中に没して、半ば暗礁化してしまいました。この暗礁により、付近の水域では海難事故が多発するようになり、航路の安全を確保するために大掛かりな撤去工事を行いました。

現在、撤去構造物のうち、探照灯、砲台砲側庫、観測所と呼ばれる3つの構造物が、夏島都市緑地内に移設され、NPO法人アクション追浜の管理のもと、公開されています。



貝山緑地

貝山緑地には、昭和初期に横須賀海軍航空隊予科練習部の基地があり、ここで育った数多くのパイロットが戦場へ向かいました。展望台付近には軍事施設を守る為の対空砲が設置されていました。現在は「海軍航空発祥の地」「予科練誕生の地」などの記念碑があります。



リサイクルプラザアィクル

横須賀市リサイクルプラザ「アィクル」は、市内で分別収集されたごみをリサイクルできるように選別や圧縮等を行っている全国でも最大規模の施設です。館内ではリサイクル処理の様子を見学することができ、粗大ごみから再生された家具が展示されています。(入場無料)



天气が良い日には、遠く富士山や東京スカイツリーが望めます。

階段が急なのでご注意ください。

金沢名産海苔の直売所が並びます。おいしい一番海苔はいかがですか。

ゴール

④ 瀬戸神社

※トイレはありません



よこすか 京急沿線ウォーク

YOKOSUKA Keikyu Ensen Walk

第5回 野島歴史探訪ウォーク

平成27年12月7日

スタート	ゴール
① 追浜駅	④ 瀬戸神社
30分	2.5 km
② 第三海堡遺構(夏島)	③ 旧伊藤博文金沢別邸(野島公園)
60分	30分
4.0 km	2.5 km
⑤ 瀬戸秋月	金沢八景駅
0.2 km	

※歩行距離約9km(約2時間) ※休憩・見学等の時間を含みません。

スタート

① 追浜駅

ご参加者の皆様へ

コース上には、狭い歩道や横断箇所などがあります。必ず歩道・横断歩道を歩いて、車両には十分ご注意ください。なお、ウォーク中の事故・負傷などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。歩行中に地震等が発生した場合は、コース上の係員の指示に従い避難してください。ウォークは中止する場合がありますのでご了承ください。

凡例

- コース
- ♿ トイレ
- 🏯 金沢八景

Y W K W
よこすか 京急沿線ウォーク
YOKOSUKA Keikyū Ensen Walk
平成 27 年 12 月 7 日
第 5 回 野島歴史探訪ウォーク

金沢八景と野島公園

■ 金沢八景

金沢八景は、今から約300年前の元禄時代に明の僧心越禅師が能見堂から眺めた景色を故郷中国の瀟湘八景になぞらえ、洲崎の“晴嵐”、瀬戸の“秋月”、小泉の“夜雨”、乙舳の“帰帆”、平潟の“落雁”、野島の“夕照”、内川の“暮雪”、称名の“晚鐘”の八編の詩に詠ったのがはじまりといわれています。

以後この八景は、屈指の景勝地として、多くの文人が訪れるようになり、幕末の浮世絵師、歌川(安藤)広重によって描かれた「武州金沢八景」八連作が、さらに金沢八景の名を世に広めました。

この「武州金沢八景」で野島は、右半分が「野島夕照」、左半分が「平潟落雁」に描かれ、横浜唯一の自然海岸や野島山、伊藤博文公別邸など、今なおその景勝の名残を見えています。

また、古くから漁が盛んであった野島は、海苔の養殖や江戸前の魚でも知られています。現在では、多くの漁舟は釣船に姿を変えましたが、野島の海苔やアナゴは東京湾の高級食材として珍重されています。



野島からの八景島夕陽



公園展望台から海の公園方面を望む

金沢八景 (抜粋)

画 歌川広重

神奈川県立金沢文庫所蔵

1797年～1858年10月12日

安藤広重とも呼ばれる。

東海道五十三次が有名。

ゴッホやモネなどの画家に

影響を与えた

世界的に著名な浮世絵師。



① 野島夕照 (のじまのせきしょう)
手前に観光船、奥は網船、観光と漁業の町の姿
(夕照橋付近より野島方面を望む)



② 平潟落雁 (ひらがたのらくがん)
平潟での潮干狩りの様子
(平潟湾から野島方面を望む)



③ 乙舳帰帆 (おつともものきはん)
左手は今埋め立てられている小柴の岬
(旧伊藤博文金沢別邸付近より小柴方面を望む)



④ 洲崎晴嵐 (すざきのせいらん)
瀬戸橋付近の松並木
(洲崎付近の製塩小屋を望む)



⑤ 瀬戸秋月 (せとのしゅうげつ)
瀬戸の橋を中心に右に料亭、奥は野島
(瀬戸神社付近より野島方面を望む)

裏面の地図上に金沢八景が描かれたポイントが印してあります。

瀬戸神社



瀬戸神社は、治承4年(1180年)源頼朝が挙兵に際して戦勝を祈願して、この地に伊豆三島明神を勧請したのが始まりです。

その後、北条氏や関東管領足利氏の崇敬を受け、徳川家康

も慶長5年(1600年)に自ら参拝し、百石の社領を寄進しています。

現在の社殿は、寛政12年(1800年)の建立によるもので、権現造りと呼ばれる様式です。

瀬戸神社には、鎌倉時代から伝わる多数の文化財が保存されており、中でも源実朝が使用し、母の北条政子が奉納したといわれる舞楽面二面(抜頭面と陵王面)は国の重要文化財に指定されています。

境内には、東照宮から移設された石灯籠一对、謡曲「放下僧」の仇討ちの現場が当神社の境内であったとの解説板、延宝8年(1680年)の大暴風で倒れた蛇柏槇(じゃびやくしん)などがあります。中でも樹齢720年とも伝えられるカヤの古木は、金沢区内最古の横浜市指定の名木です。

明治憲法草創の碑



明治20年(1887年)、伊藤博文を中心に、井上毅、伊東巳代治、金子堅太郎の4名が、洲崎の旅亭東屋で明治憲法の草案を作成していました。「草創の碑」は昭和10年(1935年)この東屋の庭に建てられました。

旅亭廃業後、野島に移りましたが、その後、現在の地に戻されました。

龍華寺



龍華寺は800年以上の歴史を持ち、貴重な宝物が多く所蔵されています。境内には牡丹などの様々な華が咲き誇ることから華の寺としても知られています。

地蔵堂には約500年前、地元洲崎の村人の浄財によって造られた寄せ木造りの地藏菩薩座像があり、横浜市の有形文化財に指定されています。

今日は庭園と山門横の地蔵堂が見学できます。

旧伊藤博文金沢別邸

野島公園の松林に囲まれた茅葺きの木造家屋が伊藤博文の旧別荘です。

明治31年(1898年)に建設され、純和風建築2,100坪の広大な敷地に建坪110坪、前面に乙舳の海を一望できる別荘でした。

ここには、大正天皇や裕仁親王(昭和天皇)、韓国皇太子はじめ多数の政府高官が招かれました。

平成18年に横浜市指定有形文化財に指定され、解体・調査を経て、平成21年に創建当時の姿に復元されました。邸内には伊藤博文に関する資料や調度品などが公開され、庭園には牡丹をはじめ四季折々の花が咲きます。(入場無料)

※建物の規模の関係で、入場制限する場合があります。係員の指示に従ってください。



よこすか京急沿線ウォークの予定

よこすか京急沿線ウォーク 2012 は全5回を予定しています。

参加者の方により一層楽しんで頂ける企画を準備中です。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※日程の詳細は決定次第お知らせいたします。

京急ウォークに3回参加すると
もれなく全員に記念品を差し上げます。

※各回の実施内容はインターネットホームページなどでご確認ください。

http://www.cocoyoko.net/keikyū_walk

